

製品名: NAPSA マウスモノクローナル抗体**カタログ番号: AMM81232**

研究使用のみ

概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	WB,IHC,ELISA
反応性	人間、ネズミ
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05%アジ化ナトリウムを含む PBS 中の精製抗体
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	45.4kDa

抗原情報

遺伝子名	NAPSA
別名	KAP; Kdap; NAP1; NAPA; SNAPA
遺伝子 ID	9476.0
SwissProt ID	O96009
免疫原	大腸菌で発現したヒト NAPSA (AA: 20-158) の精製組換え断片。

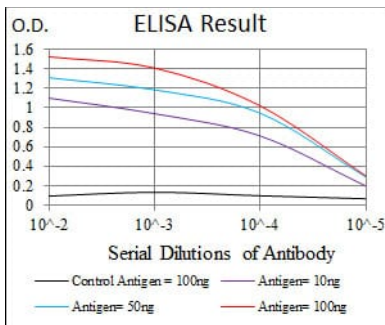
背景

アスパラギン酸プロテアーゼの活性化ペプチドは、活性部位の阻害剤として機能します。これらのペプチドセグメント（プロパーツ）は、アスパラギン酸プロテアーゼ酵素前駆体の正しいフォールディング、標的化、および活性化の制御に重要であると考えられ

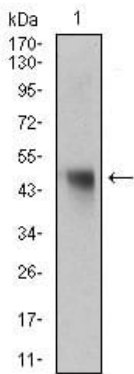
ています。プロナプシン A 遺伝子は主に肺と腎臓で発現します。その翻訳産物は、RGD モチーフと C 末端に 18 残基を含む、完全に機能するグリコシル化されたアスパラギン酸プロテアーゼ前駆体であると予測されます。

研究分野

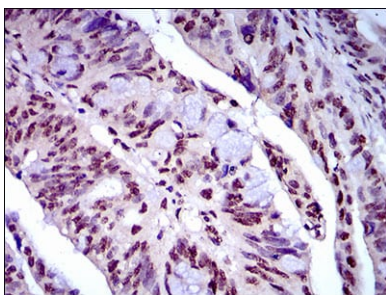
画像データ



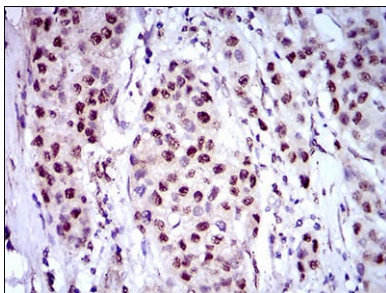
黒線: コントロール抗原 (100 ng); 紫線: 抗原 (10 ng); 青線: 抗原 (50 ng); 赤線: 抗原 (100 ng);



ラット肝臓組織溶解物に対する NAPSA マウス mAb を使用したウェスタン ブロット分析。



NAPSA マウス mAb と DAB 染色を使用したパラフィン包埋ヒト直腸癌組織の免疫組織化学分析。



NAPSA マウス mAb と DAB 染色を使用したパラフィン包埋ヒト肝臓癌組織の免疫組織化学分析。